

新年度予算及び組織改正等に関する説明について

1. 日 時：令和4年2月15日（火）18：00～19：00
2. 場 所：教育委員会会議室
3. 出席者：
 - （市）総務課長、総務課総務係長、教職員課長、教職員課人事・組織担当課長、教職員課労務制度担当係長、担当1名
 - （組合）神戸教組 副執行委員長2名
 - 市高 書記長、書記次長
 - 全教神戸 副執行委員長、書記長
 - 自教労 執行委員長、執行委員
 - 市職教育支部 支部長、書記長
 - 市従教育支部 支部長、書記長
4. 議題：新年度予算及び組織改正等について
5. 発言内容：
 - 新年度予算・組織改正等について別紙に基づいて説明

以下、質疑応答

（組合）3点お聞きしたい。

1点目は、令和の時代における学校の業務と活動について、端的に言うと、教員の負担を軽減するために事務機能を強化しようということになっているが、現在多くの事務職員があっふあっふしている。例えばシステムの開発や研修体制に対して予算をつけるべきではなかったのか。

2点目は、医療的ケア支援の充実の中で、看護師の添乗による通学支援はこれからも拡充していく見通しなのか。

3点目は、学校教育環境の充実・改善の小規模校の特色化について、学園制というのはどういうイメージなのか。進める上で地元要望があったのか。他の学校にも広げていく構想があるのか。

（市） 1点目については、様々な組合の皆さんからご意見をいただいております、事務局としても主眼においている。今後の予算編成や事務事業の見直しの中でも検討していきたい。

（市） 看護師添乗については、令和4年の1月から試行的に月4回の実施を始めている。今後は、状況を見ながら検討していく。

小規模校の件は、文科省の事業補助を活用するもの。文科省の事業の考え方としては、学校間の交流活動実施のためのバスの運行経費や、中学校の先生が小学校に学習支援に行くなど、小・中が連携した形での学習支援を想定している。他の学校については、学校や地域と話をしながら今後検証していく。

(組合) 高専教育の充実と外大との同一法人下での運営準備のところ、産学官連携強化とあるが、とりようによれば、企業にとって都合のいい、本来の学問の自立・自由と相反するのではないか。

もう1点、今日の内容は子どもを対象にした内容だと思うが、学校現場でのパワハラやセクハラについてどうお考えか。

(市) 高専の件については、科学技術が進歩し社会情勢が変化する中で、高専で学んだことが社会に出たときに役に立つ、といったことが必要である。そういう意味では、企業とも連携して、授業や研究を進めていく必要がある。研究を進めるにあたって、例えば、資金調達や技術提携も柔軟に行うことができ、高専が社会から求められている役割が果たせるのではないかと考えている。

(市) 当然我々としても、学校からハラスメントを根絶させなければいけないという強い意識のもとで、様々な取り組みを進めており、今後も続けていく。管理職や一般の教職員への研修、ハラスメントと疑われる事案が生じた場合の調査の実施、また、様々な形での相談窓口を設置し、機会あるごとに周知している。引き続き取り組みを進めていく。

(組合) 4点質問させていただく。

1つ目が、旅費や学校運営費が前年度と比較してどうなっているのか。

2つ目、今年度、半導体不足で十分に整わなかった設備は来年度配備されるのか。

3つ目、幼稚園のあり方の検討について、具体的な内容が分かれば教えていただきたい。

最後に、高専について、システム構築という話があったが、今後どのように準備をしていくのか。1つ要望になるが、あり方検討について、校内でのワーキンググループで少しずつ検討が進められてきたが、高専の先生全員に対して丁寧な説明をしていただきたい。

(市) 運営費と旅費については、個別の数字を持ち合わせていないが、行程が遅れて、本来令和3年度予算で確保したもので、3年度中の完了が見込めないものに

については、必要なものについては繰り越しをするなどして、引き続き対応をしていく。

高専の詳細な資料を待ち合わせていないが、教員の皆さんにもその都度説明はさせていただく。

(組合) いじめ・不登校対策について、不登校担当コーディネーターは全市で1名か。

(市) 現在、事務局に1名コーディネーターがいる。それを2名体制とするものである。

(組合) 中学校の全員喫食について、給食センターを設置するという話があったが、小学校でもそのようなことが起こるのか。

(市) あくまで中学校の給食センターであり、献立が違うため、各学校に給食室を新たに整備するというのは近隣の給食室や調理場の状況を踏まえた上で検討する必要がある。

(組合) 3点質問と1点要望をお伝えしたい。

まず1点目、体力向上に向けた取り組みの推進という中で、大学生に放課後の運動場解放の見守りをしてもらう話があったが、事故やけがの対応はどうか。学校が受けざるを得ないとなると、難しいと思っている。

2点目、いじめ・不登校対策の充実でスクリーニングの手法及びAI診断の活用について、今年度から実施されているということだったが、どのような成果があったのか、どのように取り組まれているのか、教えていただきたい。

3点目、学びを支える環境の整備で、学校園施設の包括的管理について、環境整備課としての学校現場の声を受ける体制は変わってくるのか。

最後、要望になるが、学校の組織力と支援の強化のところで、学校給食の公会計化は負担軽減につながるので非常にありがたいが、学校給食には、献立作成、給食発注、学校給食会に報告するシステムなど、様々なシステムがあるので、予算があればこれらを連携していただきたい。

(市) 1点目について、細かい資料はないが、対応は所管課とも協議した上で、当然学校にも過度な負担にならないよう考えたい。

スクリーニングについては、今年度からの取り組みだが、結果が出て検証するところにはまだ至っていない。令和4年度も試行的実施だが、検証した上で、どう対応していくべきか考えていきたい。

(組合) 青少年科学館のリニューアルで市長部局へという話があったが、東須磨の事件があって以降、教育委員会は学校教育に特化するため、社会教育は市長部局にと市長の会見でも言われている。社会教育が全て市長部局に移管しているが、私としては、社会教育は教育委員会が担うべきものだと思っている、非常に残念です。移管されてからしんどい思いをしていると常に聞いている。確かに社会教育法が3年前に変わり、市長部局に移管することが可能となったが、政令指定都市でここまで社会教育を教育委員会から外しているところはあるのか。

(市) 社会教育分野と学校教育は当然連携をしていかないといけない、今まで教育委員会の中にあっただけで連携しやすい形だったと思う。他都市の状況については、図書館や博物館を移管するときも当然全ての都市が移管しているわけではなく、逆に前から移管している都市もあった。青少年科学館のような施設を全ての都市が持っている訳ではないが、このような子どもが校外で学ぶ施設は市長部局が持っていることもある。極端だが、施設の統廃合や運営の形態を変えることは、勝手に市長部局でできないよう条例や規則の中でも規定されており、例えば、料金や開館時間の変更をする際は、教育委員会会議にかけることになっている。運営の在り方が最適な形になるように努めたい。

(組合) GIGAスクールに膨大な予算が組まれているが、理科室の電子黒板、図書室の無線LANとなっている。無線化にはそれほどお金はかからないだろうが、なぜこれが図書室なのか。体力向上をするなら、体育館を無線LANにすれば、インターネットを見ながらなど、体力向上につながるはず。その辺りの経緯と、支援員を4・5月頃に配置してくれるのはとてもありがたいが、学校規模も考えて配置されるのかを聞きたい。

(市) 無線LANについて、どこを優先的にやっていくかという点で、図書室での学習が多くあり、その点で必要ではないかと予算にしている。支援員の配置については、学校規模によって配置の考え方を変えていく。週1回程度の配置になるかと思う。

(組合) そうなると、全部のIDを変えてもらうなどはその方達には無理で、結局教員にやってくださいという事になるか。

(市) 基本的にはその通りで、そこに対する支援となる。

(組合) 小学校と中学校では献立が違うため、別々のセンターから配送されると聞いた

が、今回新たにできる2校の給食センターについては中学校の給食を対象に配送するためにつくると理解していいのか。港島に別々のセンターから配送されるのであれば、自校方式でおいしい給食を食べている中で、あえてセンターにする意味が分からない。逆にいうと、親子方式で中学校もできたのかという思い。それ以外に今後小学校を改築するときに、別にそこをセンター給食にする必要はなく、自校の方が子ども達喜ぶのだと思うのだが。

(市) 小学校の改築・大規模改修のときに、給食室を整備するかどうかは、共同調理場の状況や他校からの配送を含め、給食の調理をどこでどうするかをその都度検討する必要がある。新たに給食室を整備するということがありきではない。

(組合) その場合、地元の意見も聞かれてということで理解してよろしいか。

(市) ご意見は聞くが、教育委員会として方針は決めていかなければいけない。

(組合) 組織改正のところで、ここ数年多岐に渡ってかなり変わっていたが、今年はあまり変わっていない。その違いを教えていただきたい。

(市) 今まででは学校を支援する体制が十分整備されていなかった分、組織改正が大きく見えていた部分があったと思うが、今年は組織改正としては小さくなっている。

(組合) 今回の予算に人権教育が入っていないが、そのあたりどうお考えか。

(市) 今回は主要項目として説明しており、人権教育については継続的な取り組みとして行っている。

1点、先ほどの港島学園の小・中の給食について、中学校給食の全員喫食制の開始に合わせ、前期後期含めて民間デリバリー方式での給食の提供で考えている。

以上